

日本の再審制度の現状と 改革の方向性

誤判えん罪の防止についても考える

講師

弁護士
(元裁判官) **村山浩昭** 先生

【経歴】

1956年 生まれ 東京都出身
1981年 東京大学法学部卒業
1983年 判事補任官
以後、大阪、東京等の各地で勤務
2021年 大阪高裁部総括判事を最後に定年退官
2022年 弁護士登録
現在日弁連再審法改正実現本部副本部長

【研究テーマ】

再審法制
刑事責任能力（司法精神医学）
誤判防止（事実認定適正化）

【主な著書・論文等】

「再審制度ってなんだ？」岩波ブックレット（共編）（2024年）
冤罪白書（燦燈出版）にほぼ毎年寄稿
「再審請求審の審理について」成文堂
「刑事法ジャーナル 66号」（2020年）所収
「自白の任意性」日本評論社
「刑事訴訟法における学説と実務」（2018年）所収
「医療観察事件（裁判の立場から）」成文堂
「刑事手続きの新展開」上巻（2017年）所収
「勾留執行停止中の被疑者の逃亡を防ぐ措置」別冊判例タイムズ 34号
「令状に関する理論と実務 I」（2012年）所収
「裁判員裁判の評議について」立花書房
「現代刑事法の諸問題」第三巻（2011年）所収

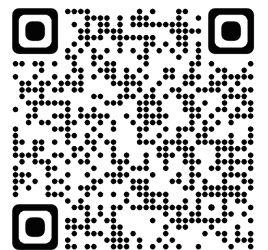
2025年 2月 28日 金 14:30~16:30

駒澤大学法科大学院棟 4階 402教室

(世田谷区駒沢 2-12-5) ※参加無料 ※ご来場が難しい場合はオンラインでの参加も可能です

参加
方法

二次元コードより、KOMAnet アカウントからお申込みください。
【対象：KOMAnet アカウントをお持ちの教職員・学生】 申込締切：2/22（土）



✉ klawgs@komazawa-u.ac.jp ☎ 03-5712-4703/4776

お問い合わせ先：駒澤大学法科大学院係・司法研究所事務室